

# 政治の中身は **新首相に岸田氏** 「安倍・菅直系政治」

4日、首相に就任した岸田文雄・自民党総裁。コロナ対応や外交、改憲への姿勢などは「安倍・菅政治直系」ぶりが鮮明です。政権を中枢で支えてきた岸田氏。党役員人事でも「安倍カラー」がハッキリ。政治を変えるには政権交代しかありません。



安保法制について答弁する当時の安倍晋三首相（左）と岸田文雄外相（右）  
2015年5月27日、衆院安保法制特委

## 政権交代でチェンジを

### 平和

#### 安保法強行、改憲明言

安保法制や辺野古新基地建設の強行など、安倍氏と一体になって日米同盟強化を推進。被爆地・広島県の選出であるにもかかわらず核兵器禁止条約を一貫して否定。総裁任期中に改憲実現を目指すと言明しました。

### コロナ対策

#### 無策に反省なし

岸田氏は、コロナ対策について安倍・菅政治の逆行と無策への反省を一切語りません。コロナ対策は、「11月中の希望者全員のワクチン接種完了」「年内の経口薬普及」と菅路線の継承と言えるものばかりです。

### 党役員人事

#### 疑惑に無反省すぎる

新しい自民党役員人事。安倍政権時代に金銭授受疑惑で閣僚辞任した甘利明氏が幹事長、「森友」公文書の改ざん解明に背を向ける麻生太郎財務相は副総裁。数々の「政治とカネ」問題への反省が全くありません。

### 経済

#### 「アベノミクス」を礼賛

「新自由主義からの転換」と言いながら大企業優遇のアベノミクスについて「間違いなく大きな成果があった」と評価し継承する姿勢。消費税について「当面さわらない」と減税を否定。一方、企業への“税制支援”を主張。

## 第6波起こさぬ 対策と備えを

### 緊急事態宣言解除

新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言などが1日、全面解除されました。「第5波」では、政府の「原則自宅療養」方針のもとでコロナ在宅死が8月だけで250人にのぼるなど、多くの犠牲が出ました。「第6波」を起こさないための対策に全力をあげるとともに、「第6波」が起きた場合の備え

をしっかりと行うことが、いま大切です。

共産党の志位和夫委員長は9月28日の会見で、「原則自宅療養」方針の撤回と臨時医療施設の大規模な増設、保健所体制の強化などを求めました。感染力の強いデルタ株のもと、ワクチン一本やりでは抑えられません。ワクチン接種と一体の大規模検査が必要だと強調しました。また、持続化給付金などの再支給や生活困窮者への10万円給付など、十分な補償をやるべきだと述べました。